

科目名	中国語1c A	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	姜 杰裕		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320229	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な挨拶、会話と簡単な自己紹介が出来るようになり、以後の更なる中国語学習に基礎を築く。				
学修到達目標	発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、漢詩一首暗誦、簡単な挨拶ができるように、中国語を話す、聴く、読む、書くための基礎能力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	中国語について簡単紹介 単母音学習。
第2回	複母音・声調・声調記号のつけ方
第3回	子音①・声調の変化

第4回	子音②・軽声・ル音化
第5回	発音の総復習・確認テスト
第6回	「初対面 1」－ 初対面挨拶 1
第7回	「初対面 2」－ 初対面挨拶 2
第8回	指示代名詞とその使い方・疑問文
第9回	「買い物」 数量詞①・動詞文
第10回	「家族」 数量詞②・連動文
第11回	復習・確認テスト
第12回	形容詞の使い方・所有と存在の文法
第13回	時間①－時刻

第14回	時間②—時間の量
第15回	総復習—今まで習った語彙・文法を復習する。
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキスト・配った資料やネットなどを通じて、毎日中国語に触れる習慣をつける。次に学習する新出単語の意味・?音・声調を予習しておく。予習時間は3時間。
【復習】時間・内容	習った単語の拼音が正しく書ける、意味も分かる。CDを聴きながら本文を正しく流暢に読めるように音読練習する。宿題を完成し、訂正された問題点を理解し解決する。復習時間4時間。

成績評価	
評価基準・方法	発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間を有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は期末試験(40%)、小テスト(15%)、授業態度・授業参加(15%)、宿題(15%)を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	宿題については答え合わせして、問題点を指摘、解説する。試験や課題については模範解答、講評を発表する。また、口頭発表については、発音などの改善点を指導する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』 著者 周一川 ・ 郭海燕 ・ 賈曦 (同学社)
受講上の留意点等	中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。 授業状況により予定を変更することがある。
JABEE	

科目名	中国語1c B	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	姜 杰裕		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320229	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な挨拶、会話と簡単な自己紹介が出来るようになり、以後の更なる中国語学習に基礎を築く。				
学修到達目標	発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、漢詩一首暗誦、簡単な挨拶ができるように、中国語を話す、聴く、読む、書くための基礎能力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	中国語について簡単紹介 単母音学習。
第2回	複母音・声調・声調記号のつけ方
第3回	子音①・声調の変化

第4回	子音②・軽声・ル音化
第5回	発音の総復習・確認テスト
第6回	「初対面 1」－ 初対面挨拶 1
第7回	「初対面 2」－ 初対面挨拶 2
第8回	指示代名詞とその使い方・疑問文
第9回	「買い物」 数量詞①・動詞文
第10回	「家族」 数量詞②・連動文
第11回	復習・確認テスト
第12回	形容詞の使い方・所有と存在の文法
第13回	時間①－時刻

第14回	時間②—時間の量
第15回	総復習—今まで習った語彙・文法を復習する。
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	テキスト・配った資料やネットなどを通じて、毎日中国語に触れる習慣をつける。次に学習する新出単語の意味・?音・声調を予習しておく。予習時間は3時間。
【復習】時間・内容	習った単語の拼音が正しく書ける、意味も分かる。CDを聴きながら本文を正しく流暢に読めるように音読練習する。宿題を完成し、訂正された問題点を理解し解決する。復習時間4時間。

成績評価	
評価基準・方法	発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間を有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は期末試験(40%)、小テスト(15%)、授業態度・授業参加(15%)、宿題(15%)を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	宿題については答え合わせして、問題点を指摘、解説する。試験や課題については模範解答、講評を発表する。また、口頭発表については、発音などの改善点を指導する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』 著者 周一川 ・ 郭海燕 ・ 賈曦 (同学社)
受講上の留意点等	中日辞典（紙媒体ないし電子辞書）を必ず持参すること。 授業状況により予定を変更することがある。
JABEE	